

市の宣言

男女平等参画都市宣言
非核平和都市宣言
青少年健全育成都市宣言
交通安全都市宣言

第55回人権週間 12月4日～10日 育てよう一人ひとりの人権意識

身近なことから人権を考えませんか

「世界人権宣言」は、基本的人権および自由を遵守し確保するために、世界のすべての人々とすべての国々が達成すべき共通の目標として、昭和23年(1948年)12月10日の第3回国際連合総会で採択されました。国連はこれを記念して12月10日を「人権デー」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。
我が国では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、その意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及につとめています。

町田市においても基本的人権の尊重啓発のため様々な事業を実施するほか、人権意識の高揚を図っています。

男女共同参画社会の実現を図ろう

男女の役割を固定的にとらえる人々の意識は今なお社会に根強く残っており、家庭や職場で種々の男女差別を生む原因となつていいます。また、夫等からの暴力や職場での「セクシュアル・ハラスメント」などの「女性に対する暴力」の問題も重大な人権問題です。
市では、2001年に「男女平等参画都市宣言」を行い、男・女という性にとらわれないことなく、すべての市民の基本的な権利が守られるよう取り組んでいます。

子どもの人権を守る

虐待行為により、子どもの生命が奪われたり、心身や人格の形成に重大な影響が及ぶなど、子どもをめぐる人権問題が大きな社会問題になっていきました。また、いじめや体罰の問題も後を絶ちません。
市では、「青少年健全育成都市宣言」や「子ども憲章」を制定し、子どもの人権を守るために各種の施策に取り組んでいます。

高齢者を大切にすることを育てよう

社会の高齢化が急速に進む中で、高齢者に対する就職差別や介護者による虐待等の人権問題が起きています。市では高齢社会総合計画に基づき、保健・医療や福祉にとどまらず、生活環境改善、社会参加の推進など様々な施策を通じて、高齢者が安心して暮らせる社会を目指しています。

障がいのある人の完全参加と平等を実現しよう

障がいのある人も地域の中で普

人権を考える 講演と映画の集い

人権が尊重され差別のない明るい社会をつくるには、一人ひとりが人権を正しく理解し、行動していくことが大切です。市では人権週間を記念して「講演と映画の集い」を開催します。

日時 12月6日(土)午後1時～4時

会場 町田市民フォーラム

内容・講師 講演「犯罪被害者の人権を考える」=全国犯罪被害者の会(あすの会)幹事・假谷実氏/人権啓発映画「心の交響楽」

定員 188人(抽選) 申し込み 往復八ガキ(1枚3人まで)に



假谷実氏

「講演と映画の集い参加希望」と書き、住所・氏名・電話番号・入場希望者数を明記し、返信用にもあて先を明記して11月28日まで(必着)に福祉総務課(〒194-8520、中町1-20-23、☎724・2133)へ。

車いす使用者等介護者が付き添う場合には介護者人数を明記して下さい。この催しは手話通訳・字幕でも案内します。

ご利用下さい 人権擁護委員会による定例相談
人権擁護委員は法務大臣の委嘱を受け、国民に保障されている基本的人権を擁護し自由人権思想の普及高揚を図るため、日々活動しています。
市では、毎日の生活を営む上で困り事や、人権上の問題について、定例相談会を行っています。
お気軽にご利用下さい。
相談日 毎月第1・4金曜日
時間 午後1時30分～4時
会場 市役所1階 市民相談室
申し込み 電話で市民相談室(☎724・2102)へ。

外国人の人権を尊重しよう

国際化時代を迎え、在留外国人も急増していますが、言語、宗教、生活習慣等の違いから就労時の差別やアパートへの入居拒否など様々な問題が発生しています。
市では、町田国際協会を設置し、地域レベルの国際交流活動を進め、国際感覚豊かなまちづくりの推進を図っています。

エイヌの人々に対する偏見、差別をなくそう

アイヌの人々は、固有の言語、伝統的な儀式、祭事や多くの口承文学(ユーカラ)などの独自の

HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう

HIV感染者やハンセン病結

刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう

刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見には根強いものがあり就職に際しての差別などの問題が起きています。刑を終えて出所した人が、社会の一員として円滑な生活を営むためには、本人の強い更意欲と、家族、職場、地域社会の理解と協力が必要です。
法務省では、このような偏見や差別をなくすよう啓発を行っています。

インターネットを悪用した人権侵害はやめよう

インターネットの普及に伴い個人の名譽を侵害したり、差別を助長する表現が掲載されるなど、人権に関わる問題が発生しています。
法務省では、個人の名譽など人権に関する正しい理解を深めるための各種啓発活動を展開するとともにプロバイダーに削除を申し入れるなどの対応を図っています。

性的指向を理由とする差別をなくそう

性的指向を理由とする差別については、世界各国において禁止法があるという認識が広がっています。が、いまだ偏見や差別を受けているのが現状です。
法務省ではこのような差別をなくすため、各種啓発活動を行っています。

町田に静かな空を返せ 厚木基地騒音対策協議会開催

昨年から参加している厚木基地騒音対策協議会総会が、11月19日に開催され、町田市から寺田市長が出席しました。
厚木基地騒音対策協議会は、厚木基地における夜間連続離着陸訓練(NLTP)等による航空機騒音に際し、神奈川県及び基地周辺7市(横浜市、藤沢市、相模原市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市)の行政及び議会関係者が相互の連絡、協力を密にして、騒音問題の解消に向けて実効のある運動を進めることを目的に設置された組織で、米軍や日本政府への要請行動等

保護を図るため、各種啓発活動に取り組んでいます。
11月9日(日)に衆議院議員選挙並びに最高裁判所裁判官国民審査が執行されました
問企画調整課 ☎724・2103

投票率	衆議院(小選挙区選出)	議員選挙			
町田市平均	61.33%				
東京都平均	58.35%				
全国平均	59.86%				
開票結果	衆議院(小選挙区選出)	議員選挙【東京都第23区(町田市・多摩市)】			
届出順	候補者名	党派名	町田市の得票数	東京都第23区の合計得票数	結果
1	石毛 えい子	民主党	78,683	110,266	(比例で当選)
2	今村 順一郎	日本共産党	16,507	23,943	
3	伊藤 公介	自由民主党	96,801	126,221	当選